

# 会議録

|      |   |
|------|---|
| 開催日時 | 平成29年8月29日（火）午後2時から午後4時25分  |
| 開催場所 | 西尾市クリーンセンター研修室及び計画地周辺   |
| 出席者  | 市長<br>委員：別紙名簿のとおり（欠席者：鈴木委員、野田委員）<br>事務局：永谷環境部長、牧環境部次長、鈴木環境保全課長、黒野主任主査、三矢主任主査、鈴木主事   |
| 会議名  | 第1回西尾市産廃処理施設建設計画影響調査研究会   |
| 内容   | <p>司会進行 事務局</p> <p><b>1 市長あいさつ</b></p> <p>皆さん、こんにちは。西尾市長の中村でございます。</p> <p>本日は、第1回西尾市産廃処理施設建設計画影響調査研究会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様には、本市の環境行政にご理解とご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>一色町生田地内への民間事業者による産廃処理施設建設計画につきましては、本市が抱えるたいへん大きな課題となっております。</p> <p>産廃処理施設建設計画地は、住居や一色中学校などの教育施設にも近く、そして、三河湾に隣接しているため、廃棄物の搬入や処分場の維持管理による周辺住民の生活環境への影響、一色中学校生徒への影響が懸念されているところであります。</p> <p>加えて、南海トラフ巨大地震が想定されている地域でございますが、この場合、たいへん大きな被害が想定されてもおりまして、津波や液状化によって生じた被害は、産業界に影響を及ぼすだけでなく三河湾全体の環境汚染にもつながり、広域的な環境汚染に発展してしまうと考えられます。</p> <p>市民の皆さんの生活環境や、本市の「海・川・山」といった多様な自然環境を次世代に引き継いでいくため、私自身、この新たな産廃処理施設建設については反対の意思を表明しております。</p> <p>委員の皆様には専門的な見地から、こうした状況を客観的にご判断いただき、計画地としてふさわしいかどうか、ということに関して率直なご意見をいただきたいと存じます。</p> <p>以上、誠に簡単ではありますが、第1回西尾市産廃処理施設建設計画影響調査研究会にあたってのあいさつとさせていただきます。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p> <p>あいさつ後、公務のため退席</p> |

## 2 西尾市産廃処理施設建設設計画影響調査研究会設置要綱について事務局から説明

質疑なし

## 3 委員自己紹介

欠席者については事務局から紹介

## 4 会長、副会長選出

### 木曾委員

先ほどの自己紹介のとおり、片山委員は委員長、座長の経験が豊富である。会長には片山委員を推薦したい。また、副会長については会長選出後に会長が推薦してはどうか。

一同「異議なし」の声

### 事務局

それでは、当研究会の会長を「片山委員」に、決定をさせていただきます。

### 会長

副会長については、折出委員を推薦したい。

一同「異議なし」の声

### 事務局

それでは、当研究会の副会長を「折出委員」に、決定をさせていただきます。

### 会長あいさつ

市長も申されたとおり、地元にとっては重要な課題であると思われる。

この研究会は、7名の委員で多岐にわたる面から、日本最大級の規模の産廃処理施設がどのような問題をもっているか検討をしていきたいと思えます。

県民、地域住民にとっては非常に大変な問題でありますので、委員の方だけでなく、広い意見を求めていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

## 司会進行を事務局から会長へ交代

## 5 議題（1）一色町生田地区産業廃棄物処理施設建設設計画等の概要について事務局から説明

### 質疑応答

#### 会長

地域会議と研究会の関係はどのようなものか。また、地域会議は現在存在するか。

#### 事務局

地域会議は、一色町生田竹生新田地内における産廃跡地問題について協議をしてきたもので、平成29年7月12日の会議で結論が出たので会議は終了している。

#### 副会長

地域会議の協議結果である「環境監視の継続」は、どこが行うのか。

#### 事務局

現在は、愛知県が周辺水路で年に2回水質調査をしている。また、市が周辺水路の底質土壌の調査を年1回行なっています。

今後は、この調査の方法や回数について、現在行なっていない跡地のガス噴出の調査等も含め、県と市でどちらがどのような調査を行うか検討をする予定。

#### **副会長**

一色中学校グラウンドまでの距離は約150メートル。一色東部小学校までは、どのくらいの距離か。

#### **事務局**

1.5～2キロメートル。

#### **会長**

このあたりの地域、東海3県の処分場の状況はどのようなか。

#### **事務局**

東海3県のデータはないが、愛知県内の産廃最終処分場の中で、全体面積が1ha以上の処分場を環境省もしくは愛知県のホームページから抽出したデータがある。

(データをパワーポイントで表示し説明(別紙、愛知県内の産廃最終処分場を参照。))

県内に1ha以上の処分場が11箇所あり、その内6箇所が瀬戸市にある。また、11箇所の中で公共が関与しているのは、豊田市が出資している公益財団法人豊田加茂環境整備公社と愛知県や名古屋市等の周辺自治体が出資している公益財団法人愛知臨海環境整備センター、通称アセックの2箇所。

#### **会長**

これは、今使っている処分場か。残りの埋立容量は。

#### **事務局**

今使っている処分場。残りの埋立容量は不明。

この他に、全体面積が1ha未満の処分場が10箇所程度ある。

#### **中山委員**

研究会の設置要綱からすると、建設計画地として妥当か否かについて結果を出すということで、その際は、廃棄物の処分について困っているかどうかは考慮しなくてよいか。

#### **会長**

よい。

#### **中山委員**

是か非かの判断の際に、調査等が必要となった場合には、ある程度予算も付けられるか。

#### **事務局**

予算が必要となった場合には、何とか予算確保していきたい。

#### **高橋委員**

ここへ廃棄物の埋め立てを行っていた当時、県へマニフェストが提出されている。従って、産廃跡地は本来、県が責任をもってやるべきではないか。市からも強く要求すべきではないか。

ここには貴重な鳥がたくさんおり、地元の人々は風評被害を気にしている。

まずは、跡地の処理をしてからでないと、大変だと思われる。

#### **木曾委員**

地域会議の協議結果である「環境監視の継続」について、結果は公表されているのか。

#### **事務局**

県の調査結果は公表されていない。市の調査結果は地域会議資料の中で公表されている。

#### **木曾委員**

公共用水域でないとしても、公費を使った調査が公表されていない事に疑問がある。

公表の可能性について、県へ問い合わせてもらいたい。

#### **会長**

協議の中で、話が逸脱することは構わないが、研究会の枠を超えた話ばかりでは結論が出ない。ここが処分地として適地かどうかについて速やかに断を下す必要がある。委員、事務局については、協力をお願いしたい。

### **5 議題（2）現地視察について**

公用車で現地視察

### **5 議題（3）今後の研究会の進め方について**

#### **会長**

次回からは、各委員に専門的な見地から、新規産廃処理施設立地に係る効果や問題点などについて、見解を発表していただくことを予定している。

6名の委員に各回2名ずつ発表をしていただき、次回2回目を10月、3回目を11月、4回目を1月に開催したいと思う。

#### **事務局**

次回の研究会に全員出席できるとは、限りませんので発表順を決める前に、次回の開催日を決めさせていただく。

事前に各委員から日程をお伺いしたところ、1番欠席者の少ない日に決めさせていただきました。次回は10月25日水曜日午後2時から今回と同じこの場所（西尾市クリーンセンター）で開催させていただく。欠席者は中山委員1名。

#### **会長**

発表順は、この現場に詳しい鈴木委員と高橋委員を次回。3回目を副会長と木曾委員。4回目の発表者を中山委員、野田委員としてはどうか。

一同「異議なし」の声

### **6 その他**

#### **事務局**

第2回研究会は、10月25日水曜日午後2時から今回と同じこの場所（西尾市クリーンセンター）で開催させていただく。本日の欠席者へ第1回目の内容を、事務局からお伝えする。

**事務局**

以上をもちまして第1回西尾市産廃処理施設建設計画影響調査研究会を終了します。  
ありがとうございました。

以上で会議終了 午後4時25分